

4月号

愛知県同胞援護会だより

第429号

令和6年4月1日発行



「ノーリフティングケア研修」

目次

特集：ノーリフティングケアについて	P.2
特集：災害派遣福祉チームに参加して	P.3
春緑苑	P.4
第2春緑苑	P.5
とよた苑・東山デイサービス	P.6
第2とよた苑・保見の里	P.7

大府の郷・若草苑	P.8
春日苑・ワーカー鷹来	P.9
サンホーム豊田・さくら保育園・さくら第2保育園	P.10
支えていただいた方々	P.11
特集：ひな祭り	P.12

ノーリフティングケアについて

～持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケアを目指して～

介護の現場では、利用者さんの移乗のために体を抱えたり、前かがみや中腰の姿勢で動作を行うことが多く、職員の腰痛は大きな問題となっています。特に、年齢層の若い職員は、経験不足や認識の浅さから腰痛を発症しやすく、離職原因の大きな要因の一つとなってしまっています。

「ノーリフティングケア」とは、介護する側・される側双方において安全で安心な「持ち上げない・抱え上げない・引きずらない」ケアのことです。1998年にオーストラリア看護連盟が提言したのが始まりで、日本でもノーリフティングケアに取り組む施設は年々増加しています。私たち愛知県同胞援護会も、職員の働きやすい環境と利用者さんへの安全なケアの提供のため、法人全体でノーリフティングケアに取り組んでいます。

【ノーリフティングケアで大切なこと】

- × 持ち上げない
- × 抱え上げない
- × 引きずらない



身体の間違った使い方をなくし、
適切な福祉用具を活用することが必要

ノーリフティングケアの実践のためには、機器の導入や研修・教育体制の充実などの環境整備が必要となります。ですが、それ以上に重要なのは、職員一人ひとりが「無理な姿勢で介護を行うことは、介護者・介護対象者双方にとってよくないこと」という意識を持つことです。

適切な機器を使用し、人力での介護を行わないことは、職員の負担を軽減するだけではなく、介護事故の防止や介護される側の安心につながります。職員が安心して働ける環境こそが、利用者さんが安心してケアを受けられる環境づくりにつながるのです。

新卒採用者 入職前研修

3月14日(木)から21日(木)にかけて、「令和6年度新卒採用者入職前研修」を実施しました。

令和6年度新卒採用者16名を対象に、「接遇マナー」「認知症について」「食事・移乗・入浴介助」等を学びました。



中途採用者 研修

2月9日(金)、「令和5年度中途採用者研修」を実施しました。

令和5年度下期に入職した中途採用者19名が参加し、外部講師による「コミュニケーションについて」等の講義を受けました。





災害派遣福祉チームに参加して



障害者支援施設春日苑 サービス管理責任者 松岡弘泰

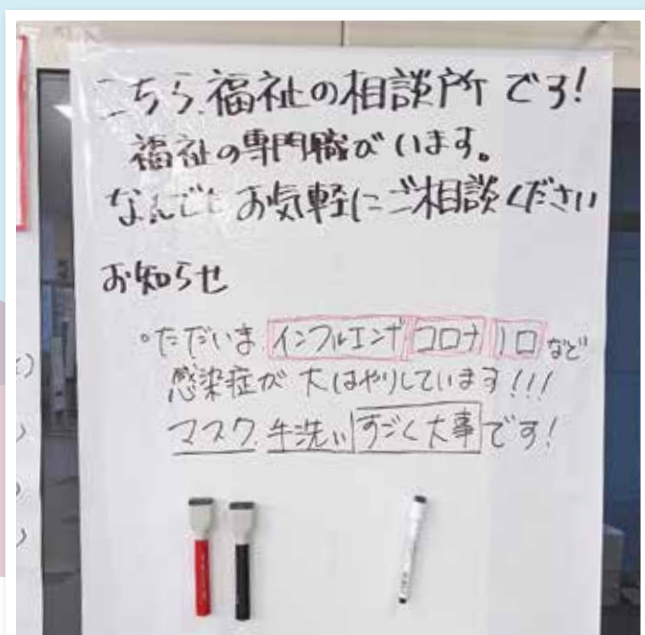
2月15日(木)から19日(月)の5日間、「令和6年能登半島地震愛知県災害派遣福祉チーム愛知DCAT」の一員として、石川県羽咋(はくい)郡志賀町富来(とぎ)活性化センターにて支援活動に参加しました。

活動拠点の富来(とぎ)活性化センターでは、多くの方が避難生活をされていましたが、建物の一部が欠けていたり、水が一部しか復旧していないなどの不便な生活を強いられていました。

私たちの活動の主な内容は、センター内で生活されている方の困りごとの相談や、他の都道府県から支援に来られている医療・保険チームの方へ、現地の様子や必要としていることを伝えることでした。右も左もわからない中で、毎日右往左往しながらの活動でしたが、被災者の方々はつらい生活の中でも明るく過ごされており、「この生活もう慣れたよ」「遠くからご苦労様」と温かい声をかけてくださって、逆にこちらが元気をいただくことも多くありました。

周辺の公民館などの自主避難所を回ると、地域の方々が力を合わせて生活をされており、改めて人と人との絆の大切さを感じました。

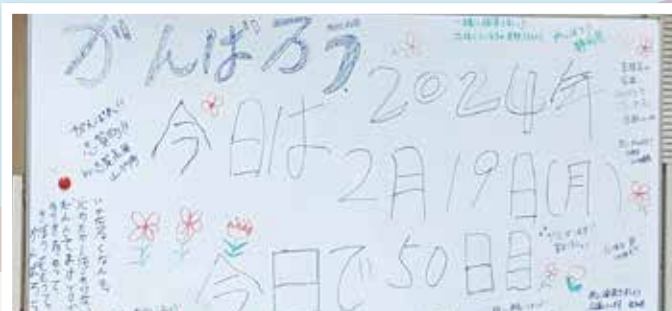
被災地の支援というと、被災した家屋の片付けや生活物資の提供を行うなどのイメージがありますが、私たちのような福祉チームが被災された方と支援チームを繋ぐことも、支援活動として大切なのだと実感しました。今後も何らかの形で復興支援に関わることができればと思います。



活動拠点にて



活動拠点の建物も地割れで傾いていました



たくさんの励ましの言葉が書かれています

車両の寄贈を受けました

「社会福祉法人愛知県共同募金会」から、共同募金分配金としてワーカー鷹来に車両1台の寄贈を受けました。



春緑苑

特別養護老人ホーム

焼きそばライブ

2月15日（木）、「ライブ調理」のイベントを行いました。

ライブ調理のメニューは「焼きそば」で、出来立ての味と雰囲気味わっていただくため、ユニットに厨房を組み、厨房の店長さんに調理を行っていただきました。

大きなホットプレートの上で具材を焼き始めると、「ジュー」というおいしいような音と、ソースの香ばしい香りがフロア中に広がります。

「なんだかお祭りみたい！」「出来立てだからいつもよりおいしいね」と、みなさんとても喜んでおられました。



フロアに焼きそばの屋台が「登場」！

デイサービス



甘くておいし〜い！

あま〜い

チョコレートフォンデュ

2月12日（月）から14日（水）までの3日間、バレンタインデーにちなんで「チョコレートフォンデュ」を作りました。

細く切ったチョコレートをゆつくりと溶かし、生クリームと合わせてチョコレートソースを作ったら、バームクーヘンやマッシュマロ、塩味のおせんべいなどにソースをつけて召し上がっていただきました。

チョコレートをたっぷりつける方や、控えめにつける方など様々でしたが、「こんなことしたことないから楽しい」「チョコレートの甘さがいねー」と、うれしい声を聞くことができました。



グループホーム

昔を思うひな祭り

「ひな祭り会に向けて、リビングにひな人形の飾り付けを行いました。

飾り付けを行いながら、「娘と一緒に飾ったわ」「私は男の子しかいないからねえ」と、昔話にも花が咲き、みなさん和気あいあいと飾り付けを行っておられました。

7段のひな飾りの他にも、折り紙などを使った手作りのひな飾りもリビングに飾り付けをしたので、華やかな雰囲気の中で「ひな祭り会」を楽しむことができました。



着物が華やかですね♪



かわいいおひな様とお内裏様

地域包括支援センター

公式LINE始めました

地域包括支援センター高森台・石尾台では、これまで公共施設や地域の医療機関、薬局、店舗等に「センターだより」を設置していただき、地域包括支援センターのご案内や情報提供を行っています。

昨今、スマートフォンを利用される高齢者の方も増えており、遠方に住むご家族や若い世代の方など、より多くの方に情報発信をしていきたいということで、『公式LINE』を開設することとなりました。

「センターだより」だけでなく、地域の安全に関することなど、皆様のお役に立つ情報も発信していきたいと思っています。ぜひお友達登録をよろしくお願いいたします。



こちらのQRコードから
ご登録をお願いします♪

第2春緑苑

特別養護老人ホーム

手巻き寿司を作りました

2月7日（水）、3丁目1・2番地で「手巻き寿司」を作りました。

具材にはマグロやサーモン、甘えび、玉子、キュウリをご用意し、利用者さんにも酢飯作りを手伝っていただきました。

お好みの具材を選んで作った手巻き寿司は「おいしい」と好評で、かわりをする方もいらっしやいました。

ユニットで調理を行うことで、味だけではなく、できるまでの工程も楽しんでいただくことができました。



作るのも楽しいですね♪

出来立てすき焼き

2月5日（月）、昼食に「すき焼き」を召し上がっていただきました。

各ユニットにコンロと鍋を準備し、フロアで調理を行うと、お肉のいい匂い、食感をそそります。生卵につけて召し上がっていただくと、「おいしい」「ペロッといけちゃうね」と、とても喜ばれていました。

おいしいすき焼きをお腹いっぱい堪能し、みなさん大満足のご様子でした。



お肉もたくさん！



うーむ うまい！

デイサービス

おやつタイムを満喫

まだまだ寒い日が続く2月。寒さで体が固くなったり、気分が滅入ってしまいう方もいらっしゃるということで、2月の1か月間は少しリッチなおやつを用意して利用者さんに楽しんでいただきました。

5日間ごとにメニューを替え、「ロールケーキや「ブッセ」などの甘いおやつの日もあれば、「お好み焼き」などの塩気のあるおやつの日も用意しました。「このクリームおいしいね」「久しぶりにお好み焼きが食べれてうれしかった」とみなさんとても喜んでおられ、おいしいおやつで春に向けての活力を養っておられました。



みんなでおやつタイム！



職員随想

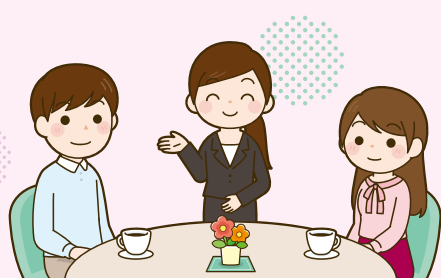
介護職員 江川惟織

素敵な良縁を目指して

私ももう20代後半になり、そろそろ結婚したいと思ったので「婚活」を始めました。

初めてのことで不安ではありましたが、いざ挑戦してみると不安以上に楽しいことが多く、新しい学びもたくさんありました。今までの人生で出会う機会がなかった年代・職業の方とお話することができ、仕事の裏事情などの面白い話も聞くことができました。

これからのより良い人生のため、素敵な良縁を目指して頑張ります。



とよた苑

特別養護老人ホーム

バナナジュースはいかが？

2月22日（木）、おやつに手作りの「バナナジュース」を召し上がっていただきました。

利用者さんに喜ばれるおやつを提供しようということで、材料には栄養と食物繊維が豊富で、利用者さんの大好きな「バナナ」をチョイスし、飲み込みの悪い方にも楽しんでいただけるようにジュースにして提供しました。カップにストローを挿して、仕上げて特製の「とよた苑シール」を貼ったら完成です。

「甘くておいしい」「初めて飲んだけど、とってもおいしいよ」と、みなさんとても喜んでくださいました。



シールもかわいいですね♪

デイサービス

またここで会えたね！

デイサービスでは、曜日ごとに利用者さんが変わります。その中で、同じ地域に住んでいて顔馴染みの人や、初対面でも偶然趣味が同じで気が付けば麻雀仲間になっている人など、いろいろな出会いがあります。

その中でも、驚く出会いがありました。それは「仲人さんとの再会」です。若かりし日の職場の先輩で、結婚式では仲人をしてくださった方と偶然に再会された利用者さんがいらっしやいました。

「相変わらずだな」「お互いに年を重ねたけど、元気な姿で会えてよかった」と再会を喜び合い、今ではお二人とも会えることを楽しみにしてデイサービスに通っておられます。



うれしい再会です（＃＾ｖ＾＃）

ケアハウス

大根と甘夏の収穫祭

2月9日（金）、畑で採れたたくさん野菜を使って「収穫祭」を行いました。

収穫祭のメニューは、おでん、菜飯、大根サラダ、フライド大根と、大根をふんだんに使った品々で、デザートに甘夏を召し上がっていただきました。利用者さんも見事な手際で下準備を手伝ってくださいました。

用意した大根の被り物をかぶり、早速召し上がっていただくと「おでんの大根が軟らかくていいね」「サラダがシャキシャキ」「今年の甘夏も良い出来だね」等の声が聞かれ、大根の皮を利用したフライド大根も大好評でした。

種まきから収穫、調理、準備まで、手作り感あふれる楽しくておいしい収穫祭となりました。



利用者さんが作った大根の被り物も素敵です♪

東山デイサービス

お題は「春」

日差しが春めいてきて、何か新しいことに挑戦したくなるようなこの季節。習字クラブの利用者さんから「そろそろ新しい作品を書きたいわ」「春らしい言葉はどうかしら？」という声をいただいたので、早速「春」をテーマにしたお手本で習字に取り組んでいただきました。

「お花見」や「早春」など、見ているだけで春への期待に胸が膨らむお手本を前に、集中して書道に取り組み利用者さん。満足いくまで何枚も半紙に筆を走らせていました。

完成した作品は、フロアの一番目立つ場所に展示し、デイサービスを利用されるみなさんに一足早い春を感じていただいています。



春ってワクワクしますよね

第2とよた苑

特別養護老人ホーム

ハッピーバレンタイン！

2月8日（木）、バレンタインのお菓子作りで「アイスクリームパフェ」を作りました。

パフェの材料は、午前中に近くのスーパーまで利用者さんと一緒に買い出しに行きました。「久しぶりの外出だし、いろいろな物を買いたい」と、利用者さんも面白い物を楽しんでおられました。

お菓子作りでは、利用者さん、職員共に手際良く調理を進めることができ、アイスクリームパフェが完成すると、「甘くておいしい」「上手にできた」と、出来栄にみなさん大満足のご様子でした。



チョコをいっぱいかけちゃうぞ〜

デイサービス

ひな人形と昔話

2月11日（日）、「ひな祭り会」に向けて利用者さんとひな人形を飾りました。

「三人官女ってどこに置くんだった」「五人囃子の持ち物はこれでもいい？」と見本の写真を見ながら和氣あいあいと作業を進め、みなさん楽しそうに飾り付けを行っておられました。

中には、「昔とても立派なひな人形を持っていた」と思ひ話を話してくださる利用者さんもあり、懐かしい思い出にほっこりとしたひとときとなりました。



立派なひな人形の完成！

居宅介護支援事業所

ケアプランデータ

連携システムの活用

様々な職業において人材不足が叫ばれる中、ICTを活用し人材不足を補うという動きが活発になってきています。

介護業界でも、国の取組みの一環として、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所間で毎月やり取りされる「サービス提供表」のデータ連携が可能な「ケアプランデータ連携システム」が開発され、令和5年4月より運用開始となりました。

当事業所でもいち早くシステムを導入しており、まだ市内でも活用例は少ないですが、他の事業所に声を掛けながら普及啓発活動に努めていきたいと思っています。



保見の里

握り寿司とちらし寿司

3月1日（金）、「桃の節句」のお祝いで「握り寿司」を召し上がっていただきました。

まぐろやサーモン、えび、玉子などのネタが並び、「これ全部好きよ」とニコニコ笑顔で召し上がり、「おいしいよ、幸せ」「おかわりあるの？ 食べる」と、みなさんご満悦の様子でした。

一部の利用者さんには「ちらし寿司」を提供しており、こちらも色合いが良くていつも以上においしそうに召し上がっておられました。



やっぱりお寿司はおいしい！

大府の郷

特別養護老人ホーム

スイーツで素敵な笑顔

2月15日（木）、「バレンタインデー」にちなんで「スイーツバイキング」を開催しました。

デザートやスイーツが大好きな利用者さんが多いので、「何を食べようかしらね。あれもこれもそれもおいしそう」と目移りしながらも、楽しそうにスイーツを選んでおられました。

「ご自分で好きなものを選ぶことができるバイキング形式のイベントにみなさん大満足のご様子で、素敵な笑顔で選んだスイーツを召し上がっておられました。」



うわ〜！おいしそうなスイーツがいっぱい♡

デイサービス

早くも満開

本格的な春が待ち遠しいこの時期、レクリエーションの時間に、利用者さんと「春をイメージした作品作りを行いました。」

お隣同士で若かりし日や、子供の頃の春の楽しかった思い出を話しながら、お花紙を使って一つずつ丁寧に花を作成しました。出来上がった花を、フロアの壁に貼り付けた木の幹に「きれいに咲いてね」と願いを込めながら貼っていくと、あっという間にピンクや白で彩られた満開の大木が出来上がりました。

完成した作品を見て、「外よりも早くお花見ができて得した気分よ」と、みなさんうれしそうにされていました。



フロアが春爛漫です♪

居宅介護支援事業所

目標に向かって

一年前に脳梗塞で入院されたAさんは、病院でリハビリに励まれた甲斐あって自宅に復帰することができました。

現在はヘルパーサービスや福祉用具レンタル、デイサービスでの機能訓練に一生懸命取り組まれ、市役所等に赴く必要のある手続きや相談等はケアマネジャーが同行支援をすることで1人暮らしを継続されています。

そんなAさんには「もう一度仕事をしたい」という目標があります。そのため、脳梗塞の麻痺はありますが、毎日できることを自身で行いながら、目標に向かって地道に頑張っておられます。

ケアマネジャーとしてこれからも支援を継続し、Aさんに合った仕事につなげられるように寄り添っていきたいと思います。



若草苑

モルックをしよう！

若草苑では、「ポッチャ」をはじめとしたいろいろなスポーツを取り入れて利用者さんに楽しんでもいただいています。2月には、「とよた市民活動センター」で開催された『モルック講座』に6名の利用者さんと参加しました。

「モルック」とは、フィンランドの伝統的なゲームを元にしたスポーツで、「モルック」と呼ばれる木の棒を投げ、数字の書かれた棒（スキットル）を倒して得点を競います。始めは「計算して倒さないといかんから、なかなか難しいよ」と言いながらも、みなさん楽しんで取り組まれています。

新体験のスポーツで身体を動かすと同時に頭も鍛えられ、楽しい時間を過ごすことができました。



ペットボトルでも遊べます♪

春日苑

癒しの時間

2月4日（日）、以前からお世話になっているカイロプラクティックの先生方が施設に来てくださいました。

カイロプラクティックとは、脊椎を中心とした身体の構造と機能に注目した施術法を特徴とするヘルスケアです。施術中は音楽を流してリラックスできる雰囲気作りをされており、利用者さんからは「これで体が若返るわ」「毎月の楽しみです」と、喜びの声がたくさん寄せられました。今後もこういったボランティアさんのご協力も得ながら、利用者さんが楽しめる時間を考えていきたいと思います。



先生と一緒にピース！とっても気持ちいい♪

虐待防止・身体拘束
適正化についての勉強会

1月31日（水）、「虐待防止・身体拘束適正化についての勉強会」を行いました。

春日苑では、日常的に虐待防止についてのミーティングを行い、チェックリストを通して自分たちの支援を常に見直しています。今回の勉強会では、介護課と看護課、総務相談課、支援センター、ワーカー鷹来の職員と共に、グループワーク形式で虐待防止についての知識を再確認し、適切な支援を行うための方法を学びました。

今後も定期的な勉強会を通じて、利用者さんの安心と尊厳を守るための職員の意識向上に努めてまいります。



勉強会の様子

障がい者生活支援センター

障害年金について

先日、「相談支援研修会」という相談員のための研修に参加し、「障害年金」についての講義を受けました。

障害年金とは、病気やけがによって生活や仕事などが制限されるようになったときに受け取ることができる年金です。受給のためには様々な要件がありませんが、その中でも障がいの原因となった病気やケガについて、最初に受診した日の特定が重要となることを学びました。

現在、障がいをお持ちの方で障害年金を受けられていない方は、条件を満たしていれば受給できる可能性があるのですが、お近くの年金事務所や市役所に相談されてみてはいかがでしょうか。



春日苑障がい者生活支援センター
（0568）88-7637
E-mail: kasugasien@douen.or.jp
担当 水野・正木・美和・池戸・長尾

ワーカー鷹来

手作りクッキー

ワーカー鷹来では、パンの製造販売の他、手作りクッキーの販売も行っています。

まずは生地を作り、型抜きを行っています。利用者さんも「楽しい」「きれいに型を取れたよ」と楽しんで調理を行っておられます。

型が取れたら、こんがり焼き上げて完成です。種類はプレーン・ココア・紅茶・ごまの4種類で、焼き立てのクッキーはどれもおいしいそうな甘い香りがしています。

こうして丁寧に焼き上げたクッキーは、市民病院や市役所で販売していますが、毎回あるわけではないので、見かけた際にはぜひ購入していただければと思います。



コロんとした一口クッキーです♪

サンホーム豊田

あいちアール・ブリュレット・サテライト展

2月9日（金）、豊川市桜ヶ丘ミュージアムで開催された「あいちアール・ブリュレット・サテライト展」に出かけました。

「あいちアール・ブリュレット・サテライト展」は、障がいのある方のアート作品を展示する催しで、サンホーム豊田の利用者さんも作品を出展しています。

きれいに展示された自分の作品を見つけて、職員に笑顔で教えてくれたり、他の作品を鑑賞して「どうやってやってるの？」「こついうのがやってみたい！」と楽しそうに過ごしておられました。



今回の作品制作に活かせるといいですね

ふんわりチョコ蒸しパン

料理教室で「チョコ蒸しパン」作りを行いました。

紙コップに一人分の材料を入れて混ぜ、良く混ぜたらビニール袋に入れてもみ込みます。「この位かな？」「ちょっと見て」と、みなさん一生懸命調理に取り組んでおられました。

もみ込む作業が終わったら、型に流し込みます。真剣な表情でこぼさない様に流し入れたら、最後に蒸して完成です。ドキドキしながら完成を待つと、チョコの甘い香りに包まれておいしそうなチョコ蒸しパンが出来上がりました。

「よかった！上手くできた！」とみなさん完成に大喜びで、出来立てをおいしそうに召し上がっておられました。



チョコチップがのっておいしそう！

さくら保育園

新聞を使って♪

1歳児のクラスで「新聞遊び」を行いました。

保育士が新聞紙を見せて「これなんだ？」と聞くと、「しんぶん！」としっかりと答えてくれた園児たち。一人ひとりに新聞紙を配ると、破いたり、くしゃくしゃにしたり、ボール状に丸めて投げあつて遊ぶ姿が見られました。

新聞紙を布団のようにかけてお昼寝をする子の横では、先生のように背中を優しくトントンと叩いて寝かしつける子もいました。

身近な物でも子どもたちの想像力で遊びが広がり、楽しい時間を過ごすことができました。



新聞でもいろんな遊びができるね♪

さくら第2保育園

マルシェで買い物

2月13日（火）から17日（土）の5日間、「作品展」が開催されました。

作品展のテーマは「マルシェさくらストリート」ということで、クラスごとに手作りしたたくさんのお店がホールに並びました。

作品展では、作品を見るだけでなく、お店に並んだ商品を使って「買い物ごっこ」も楽しみました。店員とお客に分かれてやり取りをしたり、数量限定の抽選くじで当たりを引いて大喜びしたりと、みんなそれぞれに買い物ごっこを楽しんでいました。

帰りの時間になると、袋に入った商品をうれしそうに眺めながら、迎えに来た家族の方に自慢げに見せている姿も見られました。



かあいパン屋さんだね

支えていただいた方々 (敬称略 順不同)

春緑苑

【特 養】

寄付金

● 山本浦子
● 前川実香
● 立岡紀子

ボランティア

● 武内喜代子
● 塚田美智子
● 近藤登美子
● 一ノ谷君子
● 赤坂千秋
● 赤坂智絵
● 山本浦子
● 前川実香

【デイ】

寄付物品

● 堀内道治
● 川路陽子
● 伊藤春子
● 山内量博
● ボランティア
● 岩本朱美

保見の里

ボランティア

● 藤井玲子
● 市川貴代美
● 荒川さつき
● 中條厚子
● 中條ひとみ
● 毛受秀子
● 齋場昌子

春日苑

寄付物品

● 樋口欣司

ボランティア

● 酒井カイロ
● プラクティック

ワーカー 鷹来

ボランティア

● 立山哲男
● 風間公一
● 安藤八栄美
● 小平嘉津子
● 島津たつ子
● 稲谷珠江

さくら保育園

寄付物品

● 川嶋絵里奈
● 田口晋平
● 菅原勉
● 吉田昂世
● 戸来伸也
● 山口彩加

とよた苑

【特 養】

ボランティア

● わんワン Bonds

【デイ】

ボランティア

● 梅ちゃんバンド
● グランマゆき
● 葵銭太鼓
● 白百合会
● かがやき13
● 祭り火
● なかよし
● 美里拳母音頭保存会
● 虹色リンガーズ
● リッキーズ
● 多喜秀樹
● 鈴木芳夫

【ケアハウス】

寄付金

● 山口ミヨコ
● ボランティア
● じつくり傾聴チーム

大府の郷

【特 養】

ボランティア

● 大府マジック
● 虹色の会
● 大福
● 亜友和会

東山デイ

寄付物品

● 高橋幸也
● 山川玉子

ボランティア

● ふくろう会
● 美里拳母音頭保存会
● さわやか
● ポコアポコ
● 豊田市役所奇術クラブ
● 津軽三味線盛り上げ隊
● グランマゆき
● 小川流ハーモニカ
● 柏会
● ポッケ

第2とよた苑

【特 養】

寄付物品

● 川村志満
● ボランティア
● 中條ひとみ
● 中條厚子
● 市川貴代美
● 毛受秀子
● 荒川さつき
● 藤井玲子

若草苑

寄付物品

● 堀口静江
● 加藤正信
● 中川保隆

新人職員・特定技能紹介

3月1日付

①職種 ②趣味・特技 ③自己PR



特別養護
老人ホーム
第2春緑苑

藤井晶

①介護職員 ②読書、旅行
③皆様のお力になれるよう努めます。



第2とよた苑
居宅介護
支援事業所

田中早百合

①介護支援専門員 ②旅行、ゲーム
③年齢に負けず全力で頑張ります。



特別養護
老人ホーム
大府の郷

南加奈恵

①介護職員 ②動画鑑賞
③笑顔で頑張ります。



特別養護
老人ホーム
大府の郷

中嶋一風

①介護職員 ②映画鑑賞
③コツコツ頑張ります。



春日苑

志水亮介

①機能訓練指導員 ②ゴルフ
③一生懸命頑張ります。



特別養護
老人ホーム
春緑苑

BUI THI HIEN(ブイティヒエン)

①介護職員 ②本を読むこと
③大変なこともあると思いますが、頑張ります。



とよた苑



餅花を作りました

さくら保育園



見てみて！手作りおひな様だよ

春緑苑



利用者さんの似顔絵も素敵です♪

若草苑



男性だけで完成させていただきました

サンホーム豊田



わーい！おひな様だよ

さくら第2保育園



ひな人形と一緒にピース！

第2春緑苑



笑顔が満開です♪

第2とよた苑



素敵なひな人形ですね

大府の郷



ひな祭りのおやつは何か？

職員エッセー

第13回

法人本部
事務員

佐野一真

「年を取ると時間が経つのが早いなぁ」と思うこと、みなさんありませんか？私も早いもので愛知県同胞援護会に就職して10年以上が経ち、20代の青年だったはずがあっという間に四十路のおじさんとなってしまいました。その間、結婚し2人の子どもの恵まれました。赤ちゃんだったはずの長男はもう9歳になってしまいました。

ところで、「年を取ると時間が経つのが早いなぁ現象」には「ジャンネの法則」という立派な名前があります。時が過ぎるのが何となく早く感じるだけではなく法則があるのです。

例えば5歳の子どもにとっての1年は人生の5分の1ですが、10歳の子どもにとって1年は10分の1です。つまり、5歳の子よりも1年の長さが半分を感じるそうです。仮に100歳だとすると、5歳の子どもの20倍のスピードで1年が流れているように感じるようになります。

今でも十分早いのに、もっと年を取ったらどうなるのでしょうか。お年寄りのみなさんにとって1年はすごいスピードなんじゃないかな。私にも御年90歳になる祖母がいます。大切な時間を少しでも一緒に過ごせたらいいと思います。



社会福祉法人
恩賜財団

愛知県同胞援護会

法人本部 〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1

TEL:0568-88-8302 FAX:0568-88-0306

E-mailアドレス:info@douen.or.jp HPアドレス:https://douen.or.jp

季刊誌への変更のお知らせ

4月号の発刊をもって季刊誌へと変わります。
次回発刊は夏号となります。